



栗山高2学級維持 月形に青果貯蔵

月形に青果貯蔵施設

ミニトマト出荷力向上

カボチャ用の機械も

【月形】町が整備を進めてきた、新たな青果物集出荷貯蔵施設が完成した。町内で生産が盛んなミニトマトの出荷能力を向上させたほか、新たにカボチャ出荷用の機械も導入。今月中旬から始まるミニトマトの出荷を皮切りに、本格稼働する。(渡辺拓也)



ミニトマトの選別機などが並ぶ青果物集出荷貯蔵施設

新施設は、町南耕地の町有地で昨年6月に着工。今年3月に完成し、5月に外構工事の大半を終えた。総事業費6億7千万円のうち、2億5千万円は国の補助金を充て、残りは起債で賄う。指定管理者の月形町農協が管理運営を担う。鉄骨平屋建て約2300平方メートルの屋内には、ミニトマトの形や重さを選別する機械やパック詰め機などが並ぶ。同農協が所有する札比内の集出荷場の選別機も加えて、1時間当たりの処理能力は約3倍に向上。1日で最大6トン処理でき、追いつかず「農家や職員が

接種率全国44位

65歳以上の新型コロナウイルスのワクチン接種を巡り、道内は1回目の接種率が1日現在で10・67%と、47都道府県中44位にとどまった。接種率の低さは、面積が広く市町村へのワクチン配送に時間がかかるほか、接種にあたる医師や診療所の数が他府県より少ないなど、複数の要因が絡んでいるとみられる。(内藤景太、岩崎あんり)

広い道内配送に時間 少ない医師

政府が公表した都道府県 熊鷹宣言が発せられている10の接種状況によると、道内 都道府県の中で最低だった対象の約165万6千人のうち、1日現在で1回目は1万2267人、接種率は78・6%。接種率は緊急事態の要因は広さだ。ワ

なほ

5月28日の記者会見で「全国と比べて供給が最大1週間遅れる」と説明した。打ち手となる医師の数も十分ではない。国が2019年に算出した人口当たりの医師の充足度は、全国平均より低い。注射は看護師でも対応できるが、注射前の問診は医師しかできず、遅れに直結している。道庁

少ない医師

クチンは首都圏からトラックとフェリーで全道に輸送されるが、強い振動はワクチンの品質に良くないといわれ、慎重に運ぶために時間もかかる。鈴木直道知事は

栗山高2学級維持へ 地元が取り組み強化

公立高配置計画案

【栗山】道教委が発表した2022〜24年度の公立高校適正配置計画案で、今春の入学者が定員に対し1学級(40人)少なかった栗山高(全日制普通科)の定員決定が9月の計画公表時



現場の裁量で「2クラス」で運営されている栗山高校1年生の授業

まで持ち越した。これを受け町や同校の支援団体などは、現行の2学級維持に向け、それぞれ取り組みを強化する。同校の入学者が定員を40人下回るのは2年ぶり。2

年前は、町が①部活動の大会派遣②生徒の海外派遣③進学模範試験料の半額補助などの支援メニューを打ち出し、その後、入学人数が回復。今春再び同様の状況に戻った。

人数こそ1学級に当たる40人以下だが、現場の教師陣が負担増に耐え「2クラス」を維持している。2学級維持の機運づくりに協力している格好だ。(土屋孝浩)

官民でつくる「栗山高校を支える会」の早坂義幸会長(栗山商工会議所専務理事)は「近く対応策をまとめる。1学級化は教育環境の質の低下につながる」と危機感をあらわにする。町は、小樽商大の安宅仁人教授(教育学)を相談役に迎え、町教委と町民有志で「魅力づくり委員会」を設置済み。地域課題解決型学習の導入や、女子硬式野球部創設などのアイデアが出されており「高校と協議して可能なものから実現したい」(町教委)とする。栗山高の1、3年生は、

Table with 3 columns: Rank, Prefecture, Percentage. Row 1: 和歌山 29.25, Row 2: 山口 26.85, Row 3: 佐賀 26.63, Row 4: 鳥取 26.61, Row 5: 高知 25.51

Table with 3 columns: Rank, Prefecture, Percentage. Row 43: 兵庫 10.69, Row 44: 北海道 10.67, Row 45: 長崎 10.51, Row 46: 橋本 10.35, Row 47: 三重 9.22

*国の発表による。1日現在

ホストタウン 交流困った

東京五輪・パラ ホストタウン事業の進捗が遅れている。交流が困難な状況が続いている。道内自治体のホストタウン事業受け入れ状況

道内自治体のホストタウン事業受け入れ状況

ボランティア辞退1万人

ボランティアの辞退者が1万人に達した。高齢化が進む中、ボランティアの減少が懸念されている。

Table showing the status of host town projects across various municipalities in Hokkaido.